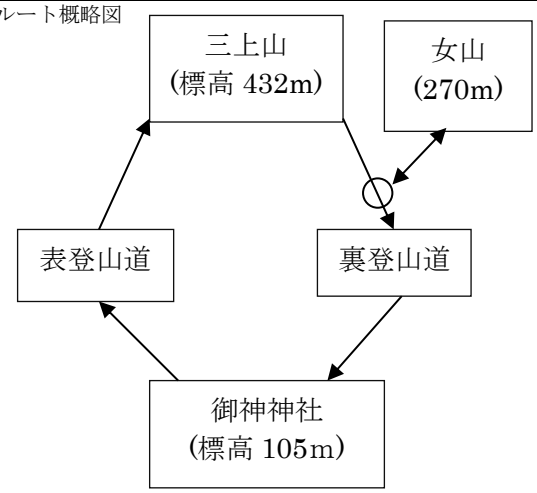
山行報告書

京都田辺山友会　　報告者　竹原(順)

山　名	三上山(近江富士)	山行名	11 月例会
ルート	松井山手～御神神社～表登山道登山口～三上山～女山～ 裏登山道登山口～御神神社～松井山手		
山行日	2024/11/23	天　候	曇り
参加者	リーダー：　竹原(順)　　サブリーダー：川田(弘) 男性：宮内、西川、山下 女性：竹原(絹)、森田、多田、川田(真)、仲野、伊藤(典)、上野(克) 合計：12 名		

ルート概略図



コースタイム

地名		時：分	地名		時：分
松井山手	着		三上山山頂 (集合写真)	着	12：05
	発	8：00		発	12；15
御神神社	着	9：30	裏登山道　下山		
	発	9：40			
登山口	着	9：45	女山	着	12：50
	発	10：00		発	12：55
表登山道　登山			御神神社	着	13：45
				発	14：15
展望台 (昼食)	着	11：10	松井山手	着	16：00
	発	12：00		発	

山行報告

午前８時、松井山手中央に参加者 12 人が集合、西川車に８人、川田車に４人が分乗して車山行の出発。途中、京滋バイパスで渋滞に巻き込まれるが名神に入ると順調に走れて目の前に三上山が近江富士と称される美しい山容を表してくれた。栗東インターから８号線に入り御神神社駐車場へは約 30 分遅れの到着。しかし、本日の行程は十分に時間の余裕を見てあるので焦ることなくトイレを使って山行の準備をして表登山道の登山口に向かう。登山口で本日の山行内容と先頭・最後尾・遊撃の役割分担を確認、各自ストレッチで準備を整え、獣柵の施錠を外して一列縦隊で山道に入る。このお山は御神神社のご神体としての信仰の対象なのでよく整備された石の階段がまず我々を迎えてくれた。しかし、それは最初だけで、富士山状の稜線をほぼ直登する登山道は、岩道で予想していたよりも厳しい。頂上に近づくほどその厳しさは増してくる。10～15 分毎に休憩を取りながら巨石をよじ登る。しかし、「割岩」と称される巨岩の隙間を通り抜けるのは大変だったが楽しかった。頂上直下の展望台からの琵琶湖方面の眺望が絶景であり、風も遮られる好立地だったのでここで昼食をとる。山頂には鳥居と祠があり、信仰の山であることを改めて思い起こさせてくれる。下山は表登山道よりも初心者向きと言われる裏登山道で女山に立ちよるコースをとるが、こちらも結構岩場の下りで厳しかった。

下見なしの山行で行き届かない点も多々あったと思いますが、何とか全員下山できました。参加各位のご協力に感謝します。また、直前の声掛けに快く応じて参加していただいた山下さん、車を提供して運転していただいた西川さん、川田さんに厚くお礼申し上げます。

ヒヤリハット　下山中に岩で足を滑らせ、尻もちをつき左足首を強打し、左足メゾヌープ骨折。

感想文

多田

車で近くを通るたび綺麗な円錐形の山の形が印象に残っていて、今回はワクワクした気持ちで参加させていただきました。登ってみると、柔らかな外観とは違い岩場が多く、岩を登ったり、間を通ったりして楽しむ事ができました。また、道がわかりやすく整備されていて安心でき、また来たい山だなぁと思いました。

参加された皆さん、ありがとうございました。

伊藤(典)

三上山は山友会に入会したての頃に登って以来二度目の登山でしたが、記憶していたのとは全く違っていました。

結構岩場が多く、急登で段差のきついコースで、短時間の割りにすごく登った感があり十二分に楽しめました。